

# 平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	産業振興課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点の方針	2.「二宮ブランド」の開発と活性化
分野別方針	(2)水産振興の推進
実施計画事業	水産振興事業(No.51)

	予算事業名	事業費執行率(%)	総合評価
01	水産振興事業(漁業再生事業)	95.9%	B
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	・漁業者の高齢化、担い手不足など、後継者不足が懸念される ・年度、季節によって漁獲量の変動があり、安定的な漁獲高を確保していく必要がある		

総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明  ヒラメ、マダイの稚魚を放流して、育てる漁業を推進することで漁業振興の効果が見込まれる。	

方向性				
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ②改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④廃止	
意見等	育てる漁業は、当面は継続するものの、将来的には事業主体を漁業組合へ移行すべき。 また、漁業従事者の育成について漁業協同組合と協議する必要がある。			

◎評価者[担当主管部長]				
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ②改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④廃止	
意見等	水産資源を維持・増大させる事業は、水産振興を図るうえで、事業継続する必要がある。			